



RSウイルス感染症 乳幼児は要注意

令和元年 10月2日
富山県感染症情報センター

(0766-56-5431 直通)
(0766-56-8142 細菌部)
(0766-56-8143 ウイルス部)

感染症発生動向速報

(令和元年 第39週分・9月23日～9月29日)

《インフォメーション》

●RSウイルス感染症

今週、県内のRSウイルス感染症の報告数が定点医療機関あたり1.62人となり、先週(3.10)より減少しました。県内の報告数は第27週(7月1日～7日)から増加し始め、第36週(9月2日～8日)に一過性のピークがみられました(図参照)。今後のRSウイルス感染症の動向に注意が必要です。

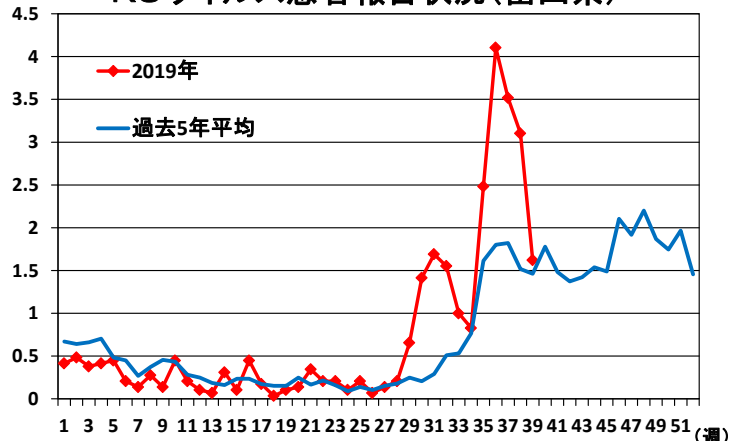
RSウイルス感染症は、RSウイルスを原因とする急性呼吸器感染症です。乳幼児の肺炎の約50%、細気管支炎の50～

90%がRSウイルスによるとされています。主な感染経路は飛沫感染と接触感染で、4～6日の潜伏期間の後、鼻汁、咳、発熱などの上気道症状が認められます。特に乳幼児では重症化しやすく、重症例では入院治療が必要となります。成人のRSウイルス感染症では、上気道の感冒様症状のみで自然軽快することが多いとされています。

咳等の呼吸器症状を認める年長児や成人では、咳エチケットとしてマスクを着用していただき、可能な限り0歳児と1歳児との接触を避けることが乳幼児の発症予防に繋がります。また、子どもたちが日常的に触れるおもちゃ、手すりなどはこまめに消毒し、流水・石鹸による手洗い又はアルコール製剤による手指衛生の励行を行うよう心がけてください。

低出生体重児や免疫異常、心臓疾患などの基礎疾患がある乳幼児に対しては、ヒト化抗RSウイルスモノクローナル抗体であるパリビズマブを投与することで、RSウイルス感染症の重症化予防が期待できます。詳しくは医療機関へご相談ください。

(人/定点) RSウイルス患者報告状況(富山県)



《全数報告の感染症》

二類感染症 結核 1件(60歳代、男性)

四類感染症 レジオネラ症 2件(①40歳代、女性、肺炎型 ②80歳代、女性、肺炎型)

五類感染症 百日咳 2件(①10歳未満、女性 ②50歳代、女性)

《定点報告の感染症》

今週の県内上位6疾患

順位	疾病名	定点あたりの数	
		今週(増減)	先週
1位	感染性胃腸炎	3.97(↓)	4.07
2位	手足口病	2.00(↓)	2.52
3位	RSウイルス感染症	1.62(↓)	3.10
4位	A群溶血性レンサ球菌咽頭炎	1.14(↑)	0.90
5位	伝染性紅斑	1.07(↓)	1.48
6位	ヘルパンギーナ	1.00(↑)	0.72

この内容は以下のホームページでさらに詳しくご覧いただけます

アドレス <http://www.pref.toyama.jp/branches/1279/kansen/>

○感染症発生動向調査報告状況（令和元年第39週 令和元年9月23日～令和元年9月29日）

分類	疾患	今週報告分（第39週）						累積報告数					
		新川	中部	高岡	砺波	富山市	計	新川	中部	高岡	砺波	富山市	計
二類感染症	結核					1	1	20	11	47	25	39	142
三類感染症	細菌性赤痢								1				1
	腸管出血性大腸菌感染症								3	6	5	8	22
四類感染症	E型肝炎							3		1			4
	A型肝炎							2					2
	つつが虫病							1					1
	デング熱											1	1
	レジオネラ症				2		2	4		13	10	17	44
五類感染症	アメーバ赤痢											4	4
	ウイルス性肝炎									1			1
	カルバペネム耐性腸内細菌科細菌感染症									4	1	3	8
	急性弛緩性麻痺									1			1
	急性脳炎											2	2
	劇症型溶血性レンサ球菌感染症									2	3	6	11
	後天性免疫不全症候群											6	6
	侵襲性インフルエンザ菌感染症									1	2	2	5
	侵襲性肺炎球菌感染症							1		8	8	9	26
	水痘（入院例）							1	2			5	8
	梅毒							1		2	1	14	18
	播種性クリプトコックス症											1	1
	破傷風									1			1
	百日咳				2		2	1	5	73	61	96	236
	風しん									1		3	4
	麻しん									1	2		3
	定点疾病 (下段は定点当たりの患者数を示す)	インフルエンザ			4	5	3	12	1,428	930	3,161	1,697	3,717
				0.31	0.71	0.19	0.25						
RSウイルス感染症		3	1	13	7	23	47	33	67	251	104	371	826
		0.75	0.33	1.63	1.75	2.30	1.62						
咽頭結膜熱		4				3	7	174	22	235	50	196	677
		1.00				0.30	0.24						
A群溶血性レンサ球菌咽頭炎		1	1	17	2	12	33	112	120	620	247	1,028	2,127
		0.25	0.33	2.13	0.50	1.20	1.14						
感染性胃腸炎		16	15	25		59	115	1,044	842	1,344	474	3,156	6,860
		4.00	5.00	3.13		5.90	3.97						
水痘						4	4	19	19	45	14	243	340
						0.40	0.14						
手足口病		2	3	17	1	35	58	201	233	1,050	267	1,303	3,054
		0.50	1.00	2.13	0.25	3.50	2.00						
伝染性紅斑			2	8	1	20	31	123	65	452	121	603	1,364
			0.67	1.00	0.25	2.00	1.07						
突発性発しん		1		6	1	9	17	30	33	177	40	167	447
		0.25		0.75	0.25	0.90	0.59						
ヘルパンギーナ		3	2	11	5	8	29	138	107	268	73	259	845
	0.75	0.67	1.38	1.25	0.80	1.00							
流行性耳下腺炎					1	1	4	7	8	1	21	41	
					0.10	0.03							
急性出血性結膜炎										13		13	
流行性角結膜炎							1	10	29	28	7	75	
細菌性髄膜炎			1			1			1		4	5	
			1.00			0.20							
無菌性髄膜炎							2	1			1	4	
マイコプラズマ肺炎			1			1		6	5			11	
			1.00			0.20							
感染性胃腸炎（ロタウイルス）							1		8	7	2	18	
インフルエンザによる入院患者（*）			1		1	2			2		3	5	

本週報のデータは速報値であり、今後、調査などの結果に応じて若干の変更が生じる場合があります。

*インフルエンザによる入院患者累計報告数は、令和元年第36週(9月2日)～の集計です。